

事務事業名		建設改良に伴う施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	0:1:潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 平成14年度~平成27年度 全体計画欄の総投入量を記入		予算科目						
	施策名	0:2:良好な生活空間の創造				水道	01	01	01			
	基本事業名	0:2:上水道・簡易水道の整備										
根拠法令												
所属	部課名	水道事業所										
	係名	工務給水係	電話	0192-27-3111								
			内線	176								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 水道水の安定した供給を図るため、既設約259kmの水道管について、老朽化に伴う布設替や道路改良工事等により支障となる水道管の布設替えを行う。また、既存33施設の機械・電気・計装設備等の更新を行う。事業費は、工事請負費、測量・設計委託料、用地・補償費等である。						全体計画(期間限定複数年度のみ)						
						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金				
							事業内訳	都道府県支出金				
								地方債	893,700			
								その他	476,426			
								一般財源				
								事業費計(A)	1,370,126			
						人件費	正規職員従事人数	5				
							延べ業務時間	35,280				
							人件費計(B)	141,120				
							トータルコスト(A)+(B)	1,511,246				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)	配水管布設替工事 3件	ア 水道管布設替延長	m
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	配水管布設替工事 4件 機械・電気・計装設備更新工事 1件	イ 水道設備更新・改修工事件数	件
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	水道施設	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 導・送・配水管の総延長	m
		キ 水道施設数	施設
		ク 老朽管等による水質苦情件数	件
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	配水管の布設替え及び水道設備を更新し機能強化を図る。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 有効率	%
		シ 有収率	%
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	安全な水が安定して供給される。		

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	
		単位							
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	86,300	75,800	58,900	56,400	23,200	28,731
		その他	千円	27,437	35,556	30,946	29,800	2,284	
		一般財源	千円						
		事業費計(A)	千円	113,737	111,356	89,846	86,200	25,484	28,731
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	2,484	2,446	2,240	2,600	2,240	2,240
		人件費計(B)	千円	9,936	9,784	8,960	10,400	8,960	8,960
		トータルコスト(A)+(B)	千円	123,673	121,140	98,806	96,600	34,444	37,691
活動指標	ア	m	1,408	1,455	1511	739	927	92	
	イ	件	1	1	0	1	1	2	
	ウ								
対象指標	カ	m	254,607	258,276	259,220	259,284	260554.3	261469.7	
	キ	施設	33	33	33	34	35	35	
	ク	件	7	12	5	5	6	9	
	ク	件	7	12	5	5	6	9	
成果指標	サ	%	88.1	87.6	89.0	89.5	90.0	90.4	
	シ	%	84.8	84.4	86.0	86.2	86.6	87.2	
	ス								
	ス								

事務事業ID	0317	事務事業名	建設改良に伴う施設整備事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和29年4月の上水道供用開始以来、水道施設の老朽化が進み、また、道路改良等に伴い水道管の布設替え工事が必要となったことによる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 未給水地域の解消等により、送配水施設が増加しており、さらに新浄水場の建設も計画している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 住民(水道使用者)から老朽管等の更新の要望がある。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 水道施設を適切に維持管理することにより市民に安全な水が安定して供給され、その結果、快適な都市環境の向上が図られる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 水道は公営事業であり、経済性とともに住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 対象、意図は水道施設の機能強化及び更新を行うものであることから適切である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 事業の健全な経営を維持するため、計画的な整備が不可欠である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 市民に安全な水が安定して供給できなくなる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 現状では他の手段は考えられない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 適正な管種・管径、機器等を選定しており、これ以上の事業費削減は困難である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 現状ではこれ以上の人件費の削減は難しい。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 最終的には水道料金に転嫁されており、適切である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 他工事との同時施工により、コスト削減をすることができた。事業の健全な経営を維持するため、計画的な整備が必要である。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 施設の整備を効率的かつ計画的に実施する。 東日本大震災の被災箇所の復旧を最優先し、その他の地区は、復旧状況に応じ、順次改良を進める。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 料金収入が伸び悩みとなっているなかで、施設等の老朽化が進行することから、計画的な整備、更新が必要である。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水道事業所長
-------	--------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 工事のコスト削減には他工事との同時施工によるほか、工事内容(工法)の見直し等を常々実施し、計画的な整備が必要。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 施設の整備を効率的かつ計画的に実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
